

二中コミュニティ・スクールだより

～市川市立第二中学校学校運営協議会～

「夢・命・絆」

令和6年度第5号

(通算第25号)

会長 小林 俊之

(文責 野手 裕之)

「令和6年度第5回学校運営協議会」報告

次第

1. 協議
(1) 後期学校評価について
(2) 令和7年度の学校運営の方向について
2. 報告及び意見交換
(1) 令和7年度の行事日程について
3. その他
(1) 同窓会入会について
(2) コミュニティ・スクールの推進にかかるアンケートについて
(3) 学校関係者評価について
(4) 卒業式の臨席について
(5) 学校支援実践講座(交流会)について
(6) 学校長あいさつ



2月21日(金)午後3:30から、第5回学校運営協議会が、第二中学校の多目的室において、委員12名の出席のもとで開催されました。

まず協議に先立って、小林会長より、次のようなあいさつがありました。

「年度末のお忙しい中、今年度最後の学校運営協議会にご出席して頂き、ありがとうございます。

先日、県立高校の入試も終わって一段落している部分もあるでしょうし、発表まではもう少しあるので不安な部分もあるのかと思っています。

さて、本日は、後期学校評価や来年度の学校経営方針について協議することとなっております。子どもたちが学校生活をエンジョイできるように、忌憚のないご意見をお願いいたします。」

1. 協議について

(1) 後期学校評価について

杉山校長から、保護者アンケートと生徒アンケートについて説明があり、それに基づいて質疑がありました。要点は次のとおりです。

- ・「豊かな心」の中で、「対話する力が身についている」が改善されているが、何か取り組みをしているのか?→「対話」に関する授業などを実施したことが挙げられると思う。
- ・スポーツに親しんでいるが前期と比べて落ちているが原因はどのようなことか?→3年生の部活の引退や寒さによるもので、特別に配慮が必要なことではないと思われる。
- ・小さなことを積み重ねて習慣化することが大切で、単元テストのような取り組みは望ましいと思うが、生徒はもちろん先生においても振り返りなどをして欲しいと思う。→そのように進め、一層、改善していきたいと思う。
- ・学習への動機づけという点でいうと、学習(勉強)の大切さや将来役に立つということに対する理解を促すように、キャリア教育などをさらに充実させていけたらいいのではないか。

なお、保護者アンケートの自由記述における意見に対する学校の対応(考え方など)に関して、学校運営協議会において、否定的ないしは批判的な意見はありませんでした。

(2) 令和7年度の学校運営方針について

杉山校長から、令和7年度の学校運営方針について、次のような説明があり、全会一致で承認されました。

「夢・命・絆」という学校教育目標は、広く浸透しており、引き続き、この学校教育目標を基本的とした上で、目指す方向も「生徒の主体的な学びと、主体的な活動を推進する方策と協働」を継続しますが、方針の再確認と方策の再構築を行っていききたい。

○夢の実現への力を育む学校

- ・個別最適な学びと協働的な学びを充実するとともに、
- ・自分で考えて動く力の育成を進め、
- ・単元や内容のまとまりごとに適切な学習評価による指導方法・学習方法の継続的な改善を推進する。

○命を大切に作る心を育む学校

- ・自己肯定感や自己有用感を高めるための生徒の主体的な活動を推進し、
- ・道徳教育の一層の充実を図るとともに、
- ・緩やかなグループ担任制をはじめとした、一人一人に寄り添う適切な支援体制を充実させ、
- ・ローテーション日課を含む教育課程を工夫し、主体的な活動の支援や生徒理解の時間の確保にさらに努める。

○絆で結ばれるチーム学校

- ・情報の発信と共有の充実を引き続き実施し、
- ・課題解決に向けて協働的に取り組む組織（マネジメント体制）を構築し、
- ・多様性を認め尊重し合う意識の育成をする。

2. 報告及び意見交換

(1) 令和7年度の行事日程について

令和6年度の行事予定を踏まえて、一年間の予定（案）の説明がありました。

4月7日（月）	始業日	9月1日（月）	始業日、引渡訓練
4月9日（水）	入学式	9月27日（金）	二中フェスティバル
4月22～24日	修学旅行	11月6～7日	オープンスクール
5月10日（土）	オープンスクール	12月23日（火）	終業日
6月6日（金）	体育祭	3月12日（木）	卒業式
7月7～11日	三者面談	3月25日（水）	修了式、離任式
7月18日（金）	終業日		

3. その他

- ・同窓会（の入会）について（齋藤同窓会長から）

今後は、加入届を受け取るようにしていくにあたって、同窓会について、3年生に説明をさせて頂きました。NFESなどへの参加を通じて、同窓会の在り方（学校や地域とのかかわり方など）も再検討しているところです。

二中同窓会のホームページは右QRコードから。



・学校関係者評価について

学校運営協議会の委員による「学校関係者評価」（評点は5点満点）がありました。

評価項目は、これまでとは異なり、「探求的な学びの推進」、「言語能力の育成」、「学習用端末の活用推進」、「体力の向上」、「多様な教育的ニーズ」となっています。評価が難しい部分がありましたが、委員による評価結果は右の表のとおりです。

表 学校関係者評価の結果について

評価項目	平均評価
探求的な学びの推進	4. 1
言語能力の育成	4. 0
学習用端末の活用推進	3. 9
体力の向上	3. 6
多様な教育的ニーズ	4. 4

なお、評点以外に寄せられた委員からのコメントには、単元テストやローテーション日課などを含めた二中の取り組みについて、肯定的な意見があり、生徒の将来を重視していることを継続して欲しいという意見がありました。

・校長あいさつ

今年度最後の学校運営協議会にあたり、最後に、杉山校長から、「委員の皆様には、支えて頂き感謝しております。引き続き、二中（生）へのご支援もよろしくお願いいたします。」といったあいさつがありました。

**地域学校協働活動
推進員研修について（報告）**

1月22日（木）に市川市教育委員会主催の「令和6年度第3回地域学校協働活動推進員研修会」が勤労福祉会館で、また、1月30日（木）に千葉県教育委員会主催の「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座〈3期〉」¹がオンラインで、開催されました。

市主催の研修では、文科省CSマイスターの竹原和泉先生による「地域学校協働活動の実践について」というグループワークを含む講演があり、県主催の研修では文科省CSマイスターの今泉良正先生による「事例から考えるコーディネータの役割」という講演がありました。両講演において、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の必要性や有用性といったことと、そのために、学校運営協議会における「熟議」の重要性が指摘されました。

市P連会長会について（紹介）

2月27日（木）に教育会館で市川市PTA連絡協議会の令和6年度第3回会長会が開催されました。

市川版コミュニティ・スクールに関して、改めて教育委員会から説明があり、千葉県CSアドバイザーの石井智子氏による「地域学校協働活動に係る実践紹介」の講演中で、各校PTA会長がグループごとに、子どもたちのためにどのような活動しているのかや地域や学校で困っていることなどを話し合いを行いました。



¹ 県主催研修では、講演の他に、栄町立竜角寺台小学校での地域学校協働活動の実践発表がありました。

学校支援実践講座（交流会）の様子



地域支援者控室の様子



支援者紹介の様子



生徒の自己紹介の様子



1年生の授業で「人のかかわりあい（学級内の人間関係）」について学ぶ「学校支援実践講座（交流会）」が、2月3日（月）と2月4日（火）に行われました。

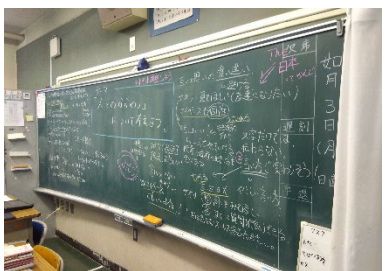
交流会は、架空事例（友だち同士のトラブル）について、5人程度のグループで思ったことや考えたことを1人1人が発表し、話し合いをする授業です。各グループには地域支援者が入って子どもたちの意見などを共感的・受容的に聞きながら話し合いを進めていきます。

複数ある架空事例から担任の先生がそれぞれのクラスのことを考えて事例を選択してくださっていると感ずることができて、とても嬉しく感じました。

二中では3年前から交流会を実施し、地域支援者を地域学校協働活動推進員で集めておりますが、今回も、子どもたちからも地域支援者からも、楽しかったという声が多く聞かれて、とても嬉しく感じます。



グループでの話し合いの様子



話し合った結果の発表の様子